

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

記入年月日
令和 3 年 5 月 19 日

事務事業名		桜川市真壁福祉センター管理事業				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け						新規/継続	継続	事務事業No.	010401000468
						単独/補助	単独		所属課
政策体系	総合計画の施策名	0104	地域福祉の推進					課長名	
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ
	施策名	04	地域福祉の推進					担当者名	
	手段名	01	①地域福祉活動の推進						
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し（年度～）	
	01	03	01	11	02	00	真壁福祉センター管理事業	➡ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入	
法令根拠	桜川市福祉センターの設置及び管理に関する条例 及び 条例施行規則								

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 【事務事業の内容】 市民の在宅福祉対策の総合的・効率的展開を図るための活動拠点として、福祉ニーズに応じた各種相談、情報及び福祉活動の場の提供を行っている福祉センターの管理事業である。指定管理者制度を導入し、桜川市社会福祉協議会が指定管理者（H30年度から5年間）として管理を行っている。 指定管理者と市は、基本協定の中で、施設管理に関する責任分担を明確にし、また、利用状況、管理状況等の報告を受けている。 【事業費の内訳】 委託料（指定管理料）、使用料及び賃借料（土地借上げ料）、需用費（10万円以上の修繕料（基本協定に基づき、市と指定管理者との協議による））	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【主な活動】 管理業務として、 ○指定管理者事業計画書の受理・審査、指定管理料の支払い、施設修繕への対応 ○指定管理者による施設の維持管理・運営

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
子どもから高齢者、障害のある方等誰もが 集い、交流する場を提供することにより、 より多くの人に利用してもらえる。	年間開館日数	日	240.00	266.00	245.00	245.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
市民	人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
地域福祉の拠点施設として、市民が地域福祉の増進と福祉活動の育成、また生活の向上に向けて安心・安全に利用することができる。	利用者数(延べ人数)	人	13,238.00	7,659.00	15,000.00	15,000.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(2) 投入量（束巻費）の推移

(3) 投入量（事業費）の推移				(実績)	(実績)	(計画)			総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	5,214	5,361	5,361		0
			事業費計（A）	千円	5,214	5,361	5,361		0
			正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)			
12 委託料	5,361			12 委託料	5,361		
		合 計	5,361			合 計	5,361

事務事業名	桜川市真壁福祉センター管理事業	事務事業No.	10401000468	所属課	社会福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成8年12月開設、市民の在宅福祉対策の、総合的、効率的展開を図るための活動拠点として設置された。建築年数の経過により、施設・設備の老朽化が進み、修繕箇所が増えてきている。平成19年度より指定管理者制度を導入し、指定管理者が施設管理を行っている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) ☒ 結びついている 地域福祉増進の拠点施設として、また人々の交流の場として機能している。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) ☒ 妥当である 桜川市福祉センターの設置及び管理に関する条例に基づき、市民の在宅福祉対策の総合的、効率的展開を図るための活動拠点として、福祉ニーズに応じた各種相談、情報及び福祉活動の場の提供を行う施設として設置されている。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) ☒ 向上余地がない 現状において、指定管理者による施設管理が問題なく行われており、成果があると考えられる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) ☒ 影響有 地域福祉の拠点となる福祉センターは、地域福祉の増進や憩いの場の提供等、世代間交流のため必要な施設である。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ☒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 類似する施設がないため、統廃合・連携はできない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) ☒ 削減余地がない 指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活かすことにより、サービスの質の下げることなく事業費を削減しており削減は期待できない。施設の老朽化に伴い修繕費の増加が想定され、指定管理者制度に基づくものであり、人件費を削減はできない。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) ☒ 公正・公平である 市民に開放し、利用者の使用条件や使用金額は同一条件であり、公正・公平である。
	⑧ 公平性

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	・地域福祉増進の拠点施設として、また人々の交流の場として機能している。 ・施設の老朽化に伴い、修繕費の増加が想定される。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ☒ ⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☒ A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐